令和５年度 事業報告について

Ⅰ　総会等の開催について

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下のとおり決議の省略やオンラインミーティングにより で行い、いずれも承認された。

社員総会（令和５年５月３０日　決議の省略）

［提案事項］第１号提案　　令和４年度 収支決算（案）（監事の監査報告）に関する件
第２号提案　　令和５年度 事業計画（案）に関する件
第３号提案　　令和５年度 収支予算（案）に関する件

理事会

第３４回理事会（令和５年５月１５日　Zoom ミーティング）

［審議事項］第１号議案　会員入退会について
第２号議案　令和４年度 事業報告及び決算報告について
（監事による監査報告）

第３５回理事会（令和５年１０月３０日　Zoom ミーティング）

［報告事項］令和５年度上半期　事業経過報告及び収支状況について
［審議事項］第１号議案　会員入退会について
第２号議案　令和６年度 事業方針について

第３６回理事会（令和６年３月２７日　Zoom ミーティング）

［報告事項］令和５年度　事業報告及び収支報告（R5.4～R6.2）について
［審議事項］第１号議案　会員の入退会について
第２号議案　令和６年度　事業計画（案）について
第３号議案　令和６年度　予算（案）について
第４号議案　令和６年度　社員総会について

運営委員会

第４７回運営委員会（令和５年５月１２日　書面決議）

［審議事項］第３４回理事会資料について

第４８回運営委員会（令和５年１０月２０日　書面決議）

［審議事項］第３５回理事会資料について

第４９回運営委員会（令和６年３月２２日　書面決議）

［審議事項］第３６回理事会資料について

Ⅱ　各事業の経過について

１．新しい学校づくりセミナー２０２３

趣　旨：文部科学省が進める「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」を踏まえ、ウェルビーイングを考慮した学校施設の質的改善・向上進める際に参考となる情報を提供した。

なお、7 月の開催は新型コロナウイルス感染症防止の観点からオンラインにより実施、11 月の開催は感染症対策に配慮し、対面形式にて開催した。

テーマ：ウェルビーイングを考慮した学校施設づくり

対　象：地方公共団体、国立大学法人等及び学校法人、建築設計事務所、学校施設整備関係者

内　容：各回以下の講師による講演にて実施した。

1. 基調講演　学識経験者１名（40 分）
2. 最新の学校施設整備に関する施策　文部科学省（20 分）
3. 学校施設事例の紹介　設計者１名（30 分）×2
4. 会員企業による具体的な技術及び製品紹介（30 分）

【第１回】

開催方法：オンライン（Google ドライブによる動画配信）

配信期間：令和５年７月１０日（月）～１４日（金）

プログラム：

【基調講演】

「開放的協調性と多様なつながりをもつ学校空間」

東京理科大学 理工学部 建築学科 教授　垣野 義典 氏

【最新の学校施設整備に関する施策】

「学校施設関係施策の動向と今後の見通しについて」

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課

【設計者による事例紹介】

「学校施設のバリアフリー化（改修)」

・柏市立西原小学校校舎長寿命化改良工事
・青梅市立第六小学校他 3 校トイレ改修
・立命館大学トイレ改修
・大阪大学産業科学研究所管理棟
・和歌山職業能力開発センター本館

講師：株式会社綜企画設計

申込者数：１２８名（教育委員会、国立大学、私立学校等３６名、設計事務所６８名、その他メーカー等２４名）

【第２回】

開催方法：対面

開催日：令和５年１１月２８日（火）

会　場：株式会社内田洋行　新川本社ユビキタス協創広場 CANVAS

プログラム：

【基調講演】

「ウェルビーイングの観点から見た学校空間とその課題」

東京電機大学 システムデザイン工学部 教授　伊藤 俊介 氏

【最新の学校施設整備に関する施策】

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部　施設企画課

【設計者による事例紹介】

１．株式会社佐藤総合計画　港区立赤坂中学校等新校舎・中之町幼稚園新園舎

２．株式会社石本建築事務所　目黒区立東山小学校・目黒区立東山住区センター・目黒区発達障害支援拠点 ぽると

【学校施設整備のための技術及び製品の紹介】

１．コトブキシーティング株式会社

２．田島ルーフィング株式会社

３．一般社団法人板硝子協会

申込者数：６９名（教育委員会、国立大学、私立学校等１８名、設計事務所３８名、その他メーカー等１３名）

２．既存学校建物の耐力度測定方法《平成 30 年度改訂版》実務講習会　（オンライン）

趣　旨：耐力度測定方法の内容について学校施設整備関係者に周知・普及を図るため講習会を開催。

開催方法：「Google ドライブ」（クラウドストレージ）を使用した。

協会が事前に収録した講師動画を、「Google ドライブ」上に保存し、その講師動画を受講者に公開した。受講者への公開期間は５日間とし、講師動画はダウンロードやコピーを禁止とした。

開催時期：令和５年１０月１６日（月）～１０月２０日（金）

受講対象者：地方公共団体、国立大学法人等及び学校法人、建築設計事務所、学校施設整備関係者

共　催：一般社団法人 日本建築学会、一般社団法人 文教施設協会（運営責任者）

テキスト：『既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造・補強コンクリートブロック造学校建物の耐力度測定方法 〈第二次改訂版〉』　【出版】第一法規株式会社

修了証書：「修了証書」は、動画公開期間終了後、受講者へ郵送した。

受講者数：８８名（地方自治体１５名、設計事務所等７３名）

３．学校施設づくり研究会

趣　旨：新しい時代の学びを実現する学校施設の質的改善と向上の在り方についてゲストを囲んで協会会員と共に考える研究会を設置。対象は協会会員。

ＭＣに長澤　悟先生（東洋大学名誉教授）をお迎えし、ゲストから提供される学校施設整備の今日的諸課題に関する話題や事例をめぐり、参加者が意見を述べ合い、課題に対する理解を深めると共に、参加者相互の情報交換や意思疎通を図った。

【第１回】

開催日：令和５年６月２７日（火）

テーマ：「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現のための学校施設づくりを考える」～学校法人ドルトン東京学園の事例をめぐって～

Ｍ　Ｃ：長澤　悟先生（東洋大学名誉教授）「季刊文教施設」編集幹事長

ゲスト：ドルトン東京学園中等部・高等部　校長　安居 長敏　先生
株式会社松田平田設計

プロラグラム（120 分）：

① 主催者挨拶
② ゲストによる話題提供（60 分）
・ドルトン東京学園中等部・高等部　校長　安居　長敏　先生
・株式会社松田平田設計（ドルトン東京学園中等部・高等部　設計担当）
③ ディスカッション（40 分）
④ 参加者交流（20 分）
⑤【希望者】コトブキシーティング株式会社　ショールーム見学

会　場：コトブキシーティング株式会社　本社セミナー会場（千代田区神田駿河台）

参加者：協会会員４３名（設計事務所会員２０名、メーカー会員２３名）

【第２回】

開催日：令和５年１１月１６日（木）

テーマ：「学校施設のＺＥＢ化について」

Ｍ　Ｃ：長澤　悟先生（東洋大学名誉教授）「季刊文教施設」編集幹事長

ゲスト：慶應義塾大学理工学部　教授　伊香賀　俊治　先生
株式会社　梓設計

プロラグラム（120 分）：

① 主催者挨拶
② ゲストによる話題提供（60 分）
・慶應義塾大学理工学部　教授　伊香賀　俊治　先生
・　株式会社　梓設計（新川崎地区小学校の計画）
③ ディスカッション（40 分）
④ 懇親会（90 分）

会　場：コトブキシーティング株式会社　本社セミナー会場（千代田区神田駿河台）

参加者：協会会員４４名（設計事務所会員１９名、メーカー会員２５名）

４．会員企業との共同セミナー

趣　旨：会員企業が主催する学校施設づくりに関するセミナーに対し、協会が運営をサポートする。具体的には、学識経験者等のセミナー講師の手配、協会の調査研究報告書の提供、セミナー参加者募集案内の支援等

共同セミナー①

主催会員：田島ルーフィング株式会社
テーマ：実践のためのヒント　－学校施設とカーボンニュートラルについて考える－
開催日：令和５年１１月　９日（木）　ライブ配信
　　１０日（金）　ビデオ配信
基調講演：株式会社日本設計　プロジェクト管理部フェロー　小泉　治氏
対　象：教育委員会、国立大学法人等及び学校法人、建築設計事務所、その他
申込者数：11/9　ライブ配信３０６名、　11/10 ビデオ配信　１２６名

５．自治体主催研修会の企画支援

趣　旨：都道府県教育委員会が管下の市区町村教育委員会を対象に主催する研修会等に対し、主催者の意向を伺いながら、学識経験者や他の自治体の基調講演講師の手配、会員による最新技術情報や事例の紹介等の企画支援をする。

研修会①

主催自治体：佐賀県
研修会名：令和５年度佐賀県公立学校施設整備期成会講習会（対面）
テーマ：学校施設の長寿命化改良について
開催日：令和５年５月２５日（木）
会　場：佐賀県市町会館３階　大会議室（佐賀市堀川町 1-1）
講　師：
《基調講演》株式会社豊建築事務所　設計部建築計画担当部長　奥澤 信之 氏
《技術講演》株式会社サンゲツ、文化シヤッター株式会社

研修会②

主催自治体：栃木県
研修会名：令和５年度栃木県公立学校施設整備期成会研修会（対面）
テーマ：これからの学校施設の質的改善について
開催日：令和５年１１月１日（水）
会　場：栃木県庁本館６階・大会議室１（宇都宮市塙田 1-1-20）
講　師：
《基調講演》東京理科大学 理工学部 建築学科 教授　垣野 義典 氏
《技術講演》東リ株式会社

研修会③

主催自治体：山梨県

研修会名：山梨県公立学校施設整備促進期成会研修会（オンライン）

テーマ：空調設備を設置した学校体育館の断熱

開催日：令和５年１２月２２日（土）～令和６年１月１９日（金）

開催方法：マイクロソフトワンドライブによる動画配信

講　師：

《基調講演》株式会社日建設計総合研究所　環境部門　研究員　木俣　孝裕 氏

研修会④

主催自治体：山口県

研修会名：公立学校施設　施設整備セミナー（オンライン）

テーマ：空調設備を設置した学校体育館の断熱

開催日：令和６年１月３１日（水）～２月７日（水）

開催方法：YouTube による動画配信

講　師：

《基調講演》株式会社日建設計総合研究所　環境部門　研究員　木俣　孝裕 氏

《技術講演》株式会社 LIXIL トイレ空間事業部

６．調査研究事業（会員企業との調査研究）

趣　旨：学校施設整備に関するテーマについて会員企業と共に、学識経験者、設計者の協力を得て調査研究を実施し、その成果を報告書にまとめ学校設置者等に配布する。令和５年度の受託業務は以下の通り。

調査研究①

受託先：三和シヤッター工業株式会社

業務名：「学校施設における水害対策に関する調査研究」

調査研究②

受託先：株式会社日建設計総合研究所

業務名：「学校体育館の温度環境と換気風量に関する調査研究」

７．学校施設優良部品等推奨事業

趣　旨：優良な学校施設部品等の利用の促進を図り、学校施設及び環境の向上に寄与することを目的とする。

審査調整委員会の開催：

以下の審査を実施し、優良部品として認められた。

① 新規品目の審査（令和５年８月３日）

申 請 者：パナソニック株式会社

審査品目：不燃軽量天井材商品名：エアリライト

② 新規品目の審査（令和６年２月１３日）

申 請 者：株式会社　マルホウ

審査工法：仕上塗材及び下地調整材に含まれるアスベスト適性除去工法

商品名：ウォータークリーン工法

審査委員会委員長及び委員の交代：

・安岡正人委員長が令和４年度で勇退をされ、令和５年度より三井所清典委員が委員長に就任された。

・三上貴正委員が令和４年度で勇退をされ、令和５年度度より東京工業大学横山裕先生が就任された。

審査対象の拡大：

従来は学校施設を構成する「部品」を対象としていたが、新たに「工法」も対象に加えることとした。（令和５年８月３日　審査委員会承認）

推奨品紹介パンフレット：

例年通り作成し、人口３万人以上の教育委員会へ令和５年４月に配布した。

８．季刊　文教施設

発行：　ＮＯ．９０号　2023 年春号　　令和５年５月８日発行

ＮＯ．９１号　2023 年夏号　　令和５年８月２８日発行

ＮＯ．９２号　2023 年秋号　　令和５年１２月１日発行

ＮＯ．９３号　2024 年新春号　令和６年１月２９日発行

編集：

学校施設の事例を中心に発行されていた雑誌　School Amenity　が廃刊になったことに伴い、学校関係者のニーズに応えるため「季刊文教施設」では９２号から事例の紹介にも注力することとした。

９．会員技術ＰＲ（年間広告）事業

人口２万人以上の教育委員会へ、協賛会員の製品・事例ＰＲ資料を送付した。

第１回送付：令和５年７月

第２回送付：令和６年２月

協賛会員：株式会社サンゲツ、一般社団法人板硝子協会、株式会社九州ハイテック、コトブキシーティング株式会社、田島ルーフィング株式会社、帝国器材株式会社、パナソニック株式会社、　株式会社綜企画設計（８社）

協賛特典：「季刊文教施設」９１号、９２号、９３号へ広告掲載した。

１０．会員企業のオンラインＣＭ（協賛費無料）

会員の最新技術・製品についての紹介動画（３分程度）を募集・作成し、協会公式 YouTube チャンネルへ年間を通じ公開。

協賛会員：株式会社アイホー、アルアピア株式会社、株式会社イケダコーポレーション、
一般社団法人板硝子協会、株式会社オーテック、コトブキシーティング株式会社、
コマニー株式会社、三和シヤッター工業、四国化成工業株式会社、
田島ルーフィング株式会社、日新工業株式会社、マグ・イゾベール株式会社、
株式会社ＬＩＸＩＬ、株式会社竹中工務店（全１４社）

１１．協会職員による講演

趣　旨：会員企業の社内研修会において、学校施設整備における文部科学省の施策や取り組みについて解説し、会員企業と施設整備との関係等について講演。

講演①
会員名：アルアピア株式会社
開催日：令和５年５月１２日（金）
内　容：学校施設整備に関する動向

講演②
会員名：株式会社教育施設研究所
開催日：令和５年５月１９日（金）
内　容：学校施設整備に関する動向

講演③
会員名：株式会社綜企画設計
開催日：令和５年９月５日（火）
内　容：学校施設整備に関する動向

１２．優良学校施設表彰事業（新規事業）

趣　旨：学校教育環境の質的向上に資することを目的に、全国で整備された学校施設について公募、選考を行い、優れた施設を表彰した。今年度より新規事業として実施。

募集要件：

（１）募集対象（申請者）
① 設置者
② 設計者　※当該校の設置者と緊密な連携を図ること。
③ 設置者＋設計者（設置者と設計者が共同で応募）

（２）対象施設（建物）
① 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校とし、国立、公立、私立を問わない。
② 国内の施設とする。
③ 応募施設の竣工年度は、令和元年（2019 年）4 月 1 日～令和４年（2022 年）3 月 31 日　※竣工後 1 年経過していること。

（３）事業の実施要件

申込数が２０点に満たない場合は、優良学校施設表彰は実施しない。

（４）スケジュール

① 応募申込書の提出・・・令和５年８月１０日～１０月３１日

② 実施するか、しないかについて申込者へ連絡・・・令和５年１１月１日

③ 資料の提出・・・令和５年１１月１日～１２月２５日

④ 選考・・・一次選考　令和６年２月１日、　二次選考　２月２６日

⑤ 表彰・・・令和６年３月

（５）選考委員

委員長：長澤　悟　氏（東洋大学名誉教授）　委員　４名

（６）表　彰

入賞作品には設置者及び設置者それぞれに対し表彰状を授与した。

賞　文教施設協会会長賞（大賞）１点

文教施設協会賞（優秀賞）３点

部　門　賞　６点

［選考の経緯］

① 令和５年１０月３１日　応募申込の締切　　申込数　２７作品

② １１月　１日　　表彰の実施する旨を申込者へ連絡

③ １２月２５日　選考資料の提出期限

④ 令和６年　１月　７日　選考資料を各委員に送付

⑤ ２月　１日　第１回選考委員会（オンライン）

１２作品が一次選考を通過

⑥ ２ 月２６日　第２回選考委員会（オンライン）

一次選考を通過した１２作品についてオンラインによる

ヒアリングを実施。

審議の結果　最優秀賞１　優秀賞３　部門賞６を決定

⑦ ３月　公表　表彰

１３．令和６年賀詞交歓会

開催日：令和６年１月３０日（火）

会　場：アルカディア市ヶ谷　大雪の間

会　費：有料

参加者数：７０名（招待者１２名、協会会員５８名）

以上